奈臣	良工業高等	等専門学校	ξ	開講年度	平成30年度(2018年度)	授業科目	ソフトウェア設計	
科目基	礎情報	· ·		· ·					
<u> </u>						科目区分	専門/選	専門 / 選択	
授業形態						単位の種別と単位			
開設学科		講義			切ら.フニルコーフ)	対象学年		L. Z	
	†	i	システム創成工学専攻(情報システムコース)				専2		
制設期	W- 1 1	前期				週時間数	2	2	
科書/勃									
当教員		上野 秀	剛						
引達目	標								
UPに基	きづいたモテ	デルの作成と	:改善がで	ごきる.	の流れとその作業を Oいて基本的な読み				
ルーブリック									
			理想	息的な到達レ	ベルの目安	標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1			述を	-スケース区 を用いてシス を理できる.	プログライス できます できまれる できまれる でんしょ かいしょ かいしょ かいしょ かいしょ かいしょ かいしょ でんしょ しゅう	ユースケース図やユースケース記述を用いて整理された要求を理解できる。		コースケース図やユースケース記述を理解できない.	
評価項目2				ラス図やオフ レス図を用い 3.	「ジェクト図, シー いてクラス設計がで	クラス図やオブジェクト図,シーケンス図からクラス設計を埋解できる.		クラス図やオブジェクト図,シーケンス図を理解できない.	
評価項目3				フティビティ ハてシステム	図や状態遷移図を の挙動を設計でき	アクティビティ図や状態遷移図からシステムの挙動を理解できる.		アクティビティ図や状態遷移図を 理解できない.	
平価項目			計力	めのUML間で ができる.	整合性のとれた設	複数のUMLからシ を理解できる.	ステムの全体修	複数のUML間の関係性を理解できない.	
学科の	到達目標	項目との	関係						
ABEE基	準 (c) JAB	EE基準 (d-2	2a)						
2育方									
受業の進	め方・方法	毎回の	講義で、	概念につい	ての座学を行った後	ための知識・技術 こモデルの表現・理 、演習・課題を通じ	た実践を行う.	講義ではUMLの記法やルールよりも	
受業の進 注意点	め方・方法	毎回の記 モデリン 関連科[電子] 学習指記 自己学	講義で, [†] ング・設 目 情報シス 計 中は他の 習	概念につい 計における テム設計I・ 学生と相談	ての座学を行った後 概念や考え方に重点 Ⅱ,システムデザー し,より良いモデル	、演習・課題を通じた置くため、実践の で置くため、実践のイン演習、電子情報」 ・・設計の作成を推奨	た実践を行う。 中で積極的に 「学特別実験 「する		
注意点		毎回の記 モデリン 関電子 関電子 学習指義 自演習	講義で, [†] ング・設 目 情報シス 計 中は他の 習	概念につい 計における テム設計I・ 学生と相談	ての座学を行った後 概念や考え方に重点 Ⅱ,システムデザー し,より良いモデル	:, 演習・課題を通じた置くため, 実践のイン演習, 電子情報」	た実践を行う。 中で積極的に 「学特別実験 「する	講義ではUMLの記法やルールよりも	
意点	め方・方法	毎回の記 モデリン 関電子 関電子 学習指義 自演習	講義で, [†] ング・設 目 情報シス 計 中は他の 習	概念につい 計における テム設計I・ 学生と相談	ての座学を行った後 概念や考え方に重点 Ⅱ,システムデザー し,より良いモデル	、演習・課題を通じた置くため、実践の で置くため、実践のイン演習、電子情報」 ・・設計の作成を推奨	た実践を行う。 中で積極的に 「学特別実験 「する	講義ではUMLの記法やルールよりも	
意点	位の履修	毎回の記 モデリン 関電子 関電子 学習指義 自演習	講義で, [†] ング・設 目 情報シス 計 中は他の 習	概念につい 計における テム設計I・ 学生と相談	ての座学を行った後 概念や考え方に重点 Ⅱ,システムデザー し,より良いモデル	、演習・課題を通じた置くため、実践の で置くため、実践のイン演習、電子情報」 ・・設計の作成を推奨	た実践を行う。 中で積極的に 「学特別実験 「する	講義ではUMLの記法やルールよりも	
意点	位の履修	毎回の記 年 回の記 単連科 関連 報告	講義で, ジン ヨ 青報シス 計 中は他の 部 部 部 部 部 の に 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	概念につい 計におけるが テム設計I・ 学生と相談 回答例につい	ての座学を行った後 概念や考え方に重点 Ⅱ,システムデザー し,より良いモデル	:, 演習・課題を通じた置くため, 実践のイン演習, 電子情報・・設計の作成を推奨で, 復習し理解を深	た実践を行う。 中で積極的に質 に学特別実験 でする であること。	講義ではUMLの記法やルールよりも 質問・相談することを推奨する.	
意点	位の履修	毎回の記 モデリン 関電子 関電子 学習指義 自演習	講義で, [†] ング・設 目 情報シス 計 中は他の 習	概念につい 計における テム設計I・ 学生と相談 回答例につい	ての座学を行った後 概念や考え方に重点 Ⅱ,システムデザー し,より良いモデル	、演習・課題を通じた置くため、実践のイン演習、電子情報」 ・設計の作成を推奨して、復習し理解を深	た実践を行う. 中で積極的に質にででででででででででででできます。 できる	講義ではUMLの記法やルールよりも 質問・相談することを推奨する.	
意点	位の履修	毎回の記事 毎回の記事 毎回の記事 単連電子 関連電 報義 音 音 演 音 音 音 音 音 音 音 音 音 音 音 音 音 音 音 音	講義で、が ング・設計 目情報シスト 計中は他の部 課題の目 授業内	概念につい 計における テム設計I・ 学生と相談 回答例につい 3容	ての座学を行った後 概念や考え方に重点 Ⅱ,システムデザー し,より良いモデル	、演習・課題を通じた置くため、実践のイン演習、電子情報」 ・・設計の作成を推奨して、復習し理解を深	た実践を行う. 中で積極的に質にででででででででででででできます。 できる	講義ではUMLの記法やルールよりも質問・相談することを推奨する. 標 ースケース・アクターの抽出を理解す	
意点	位の履修	毎回の記事を表現します。 毎回の記事を表現します。 関連科学 はいまま はいまま はいまま はいまま はいまま はいまま はいまま はいま	講義で、設計を表する。 「記書」では、 「記述」では、	概念につい計におけるを対しておけるを対しています。 対している 対してい 学生と相談 回答例についる おおか が が が が が が が が が が が か が が か が か が	ての座学を行った後 概念や考え方に重点 Ⅱ,システムデザー し,より良いモデル	、演習・課題を通じた置くため、実践のイン演習、電子情報」 ・設計の作成を推奨が、、復習し理解を深	た実践を行う. 中で積極的に質 に学特別実験 する めること. 過ごとの到達目 ゴイダンス,ユ	講義ではUMLの記法やルールよりも質問・相談することを推奨する. 標 ースケース・アクターの抽出を理解す を理解する	
意点	位の履修	毎回の記事を担け、 毎回の記事を担け、 第二十一の注意	講えて、設計を表する。 「おります」で、設計を表する。 「おります」で、設計を表する。 「おります」では、対している。 「まります」では、対している。 「まります」では、対している。 「まります」では、対している。 「まります」では、まります。 「まります」では、まります。 「まります」では、まります。 「まります」では、まります。 「まります」では、まります。 「まります」では、まります。 「まります」では、まります。 「まります。」 「まります。」は、まります。 「まりまする。」は、まります。 「まりまする。」は、まります。 「まりまする。」は、まります。 「まりまする。」は、まります。 「まりまする。」は、まりまする。 「まりまする。」は、まりまりまする。 「まりまする。」は、まりままする。 「まりまする。」は、まりまする。 「まりまする。」は、まりまする。 「まりまする。。」は	概念につい 計における テム設計I・ 学生と相談 回答例につい 1容 が析 が析	ての座学を行った後 概念や考え方に重点 II, システムデザー し, より良いモデル いて随時解説するの	、演習・課題を通じを置くため、実践のイン演習、電子情報・ ・設計の作成を推奨がで、復習し理解を深 は、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	た実践を行う. 中で積極的に質 に学特別実験 する めること. 過ごとの到達目 ガイダンス, ユ 3 1ースケース図 1ースケース記	講義ではUMLの記法やルールよりも質問・相談することを推奨する. 標 一スケース・アクターの抽出を理解す を理解する 述を理解する	
意点	位の履修	毎回の 毎回の 関学 関連電智 諸記演章 上の注意 週 1週 2週 3週 4週	講え 講え で・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	概念につい 計における テム設計I・ 学生と相談 回答例につい P容 が析 か析 モデリング	ての座学を行った後 概念や考え方に重点 II, システムデザー し, より良いモデル いて随時解説するの	、演習・課題を通じを置くため、実践のイン演習、電子情報・・設計の作成を推奨で、復習し理解を深ます。	た実践を行う. 中で積極的に に学特別実験 する めること. 過ごとの到達目 ゴイダンス,ユ 3 1ースケース図 1ースケース記 フラス図,オブ	講義ではUMLの記法やルールよりも質問・相談することを推奨する. 標 ースケース・アクターの抽出を理解す を理解する 述を理解する ジェクト図を理解する	
意点	位の履修	毎回の記事を表現します。 毎回の記事を表現である 関連の記事を表現である はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	講え 講え で・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	概念につい 計における テム設計I・ 学生と相談 「回答例につい で が析 モデリング	ての座学を行った後 概念や考え方に重点 II,システムデザー し,より良いモデル いて随時解説するの	、演習・課題を通じた置くため、実践のイン演習、電子情報」 ・・設計の作成を推奨して、復習し理解を深	た実践を行う. 中で積極的に に学特別実験 する めること. 過ごとの到達目 ガイダンス, ユ 3 1ースケース記 フラス図, オブ 関連, 集約, コ	講義ではUMLの記法やルールよりも質問・相談することを推奨する. 標 ースケース・アクターの抽出を理解す を理解する 述を理解する ジェクト図を理解する ンポジション, 汎化を理解する	
意点	位の履修	毎回の 毎回の 関学 関連電智 諸記演章 上の注意 週 1週 2週 3週 4週	講え 講え で・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	概念につい 計における テム設計I・ 学生と相談 回答例につい P容 が析 か析 モデリング	ての座学を行った後 概念や考え方に重点 II,システムデザー し,より良いモデル いて随時解説するの	、演習・課題を通じを置くため、実践のイン演習、電子情報」 ・・設計の作成を推奨 ・・設計の作成を推奨 ・で、復習し理解を深	た実践を行う. 中で積極的に に学特別実験 する めること. 過ごとの到達目 ガイダンス, ユ 3 1ースケース記 フラス図, オブ 関連, 集約, コ	講義ではUMLの記法やルールよりも質問・相談することを推奨する. 標 ースケース・アクターの抽出を理解す を理解する 述を理解する ジェクト図を理解する ンポジション, 汎化を理解する	
意点	位の履修	毎年 毎年 関学 自 学 自 ア注電 で 連電 で 消 直 カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ	講と目前計算要要分分分で・シラー要要分分分からみ分分からか分分からか分分からか分分からか分分からかり分からかりか	概念につい 計における テム設計I・ 学生と相談 「回答例につい で が析 モデリング	ての座学を行った後 概念や考え方に重点 II, システムデザー し, より良いモデル いて随時解説するの	、演習・課題を通じた置くため、実践のイン演習、電子情報」 ・・設計の作成を推奨して、復習し理解を深	た実践を行う. 中で積極的に で で で で で で で で で で と の 到達目 ガイダンス, ユ る 1ースケース 記 フラス 奥, 約, コ は フラス 集約, コ は フラス 大ース 実 り で と の フィスケース に フラス ス フラス カ フラス ス フラス ス フラス ス フラス ス フラス ス フラス こ フラス ス フラス ス ファス ス フラス ス ファス カ フラス ス ファス カ ファス ス ファス ス ファス カ ファス カ フ ファス カ ファス カ フ カ ファス カ ファス カ ファス カ ファス カ ファス カ ファス カ ファス カ ファス カ ファス カ ファス カ フ カ ファス カ ファス カ ファス カ ファス カ ファス カ ファス カ ファス カ ファス カ ファス カ ファス カ フ カ ファス カ ファス カ ファス カ ファス カ ファス カ ファス カ ファス カ ファス カ ファス カ ファス カ フ カ ファス カ ファス カ ファス カ ファス カ ファス カ ファス カ ファス カ ファス カ フ カ ファス カ ファス カ フ カ フ カ フ カ フ カ フ カ フ カ フ カ フ カ フ カ	講義ではUMLの記法やルールよりも質問・相談することを推奨する. 標 ースケース・アクターの抽出を理解する を理解する 述を理解する ジェクト図を理解する ンポジション,汎化を理解する 現のモデリング,シーケンス図を理解	
意点	位の履修	毎日 毎日 毎日 開学 自 学 自 別 1 週 2 週 3 週 4 週 5 週 6 週 7 週	講と計算で・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	概念についる 計における テム設計I・ 学生と相談 回容 析 析 ボデリング モデリング モデリング	ての座学を行った後 概念や考え方に重点 II,システムデザー し,より良いモデル いて随時解説するの	、演習・課題を通じた置くため、実践のイン演習、電子情報」 ・・設計の作成を推奨すで、復習し理解を深ます。	た実践を行う. 中で積極的に に学特別実験 する めること. 過ごとの到達目 ガイダンス, ユ コースケース記 フラスス図, 約, コ コースケース記 フラス・集作・ フラス・操作・	講義ではUMLの記法やルールよりも質問・相談することを推奨する. 標 ースケース・アクターの抽出を理解す を理解する 述を理解する ジェクト図を理解する ンポジション、汎化を理解する 現のモデリング、シーケンス図を理解	
学修単受業計	位の履修	毎日 毎日 毎日 日間 日間 日間 日間 日間 日間 日間 日間 日間 日	講之目青計中当・ 表 で・シュ は 題	概念についる 計における テム設計I・ 学生と相談 「空答」 が析 ボーデリリング でデリング でデリング ででデリング ででででででできます。	ての座学を行った後 概念や考え方に重点 II,システムデザー し,より良いモデル いて随時解説するの	、演習・課題を通じた置くため、実践のイン演習、電子情報」 ・・設計の作成を推奨して、復習し理解を深ます。	た実践を行う. 中で積極的に質 に学特別実験 する めること. 過ごとの到達目 ガイ カースケースス 1ースケース図 1ースケースフ 2ラス関, 集約, コ 1ースケース実 フラス・操作・アクティビティ	講義ではUMLの記法やルールよりも質問・相談することを推奨する. 標 ースケース・アクターの抽出を理解する を理解する 述を理解する ジェクト図を理解する ンポジション,汎化を理解する 現のモデリング,シーケンス図を理解	
注意点	位の履修	毎日 毎日 毎日 開学 自 学 自 別 1 週 2 週 3 週 4 週 5 週 6 週 7 週	講と目情計中習・要要分分分分中表のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	概念についる 計における テム設計I・ 学生と相談 「空答」 が析 ボーデリリング でデリング でデリング ででデリング ででででででできます。	ての座学を行った後 概念や考え方に重点 II,システムデザー し,より良いモデル いて随時解説するの	、演習・課題を通じた置くため、実践のイン演習、電子情報」 ・・設計の作成を推奨して、復習し理解を深いて、復習し理解を深います。	た実践を行う. 中で積極的に置 に学特別実験 はする はあること. 過ごとの到達目 ガス, ユロスケーススクーススクーススクーススクースの図記 フラス, 集のスプリースケーススプリースケーススプリースケースアクティスプリースケースアクティンフラス・操作・イフクテスト	講義ではUMLの記法やルールよりも質問・相談することを推奨する. 標 ースケース・アクターの抽出を理解する 述を理解する ジェクト図を理解する シポジション、汎化を理解する 現のモデリング、シーケンス図を理解 属性の抽出、関連クラスを理解する 図、状態遷移図を理解する	
学修単受業計	位の履修	毎モ関 学 自 アン で で で で で で で で で で で で で で で で で で	講と目前計中習・ 要要分分分分中で、設定のの内分分分が析析析析問で、シ他題業求求が析析析析問で、対象のの内分分分ががあります。	概念についる デム設計I・ 学生と相談 学生 答例 が析 ボーデリリング ボーデリリング モデリリング ブーグ ボーデリング ボーデーリング ブーグ ブーグ ブーグ ブーグ ブーグ ブーグ ブーグ ブー	ての座学を行った後 概念や考え方に重点 II,システムデザー し,より良いモデル いて随時解説するの	に、演習・課題を通じた置くため、実践のイン演習、電子情報」 ・・設計の作成を推奨して、復習し理解を深いて、復習し理解を深います。	た実践を行う: 中で積極的に置 に学特別実験 はする はあること・ 過ごとの到え、 2 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	講義ではUMLの記法やルールよりも質問・相談することを推奨する. 標 ースケース・アクターの抽出を理解する ・ 世解する ・ ジェクト図を理解する ・ ジェクト図を理解する ・ プェクト図を理解する ・ 現のモデリング、シーケンス図を理解 属性の抽出、関連クラスを理解する ・ 図、状態遷移図を理解する ・ 一ジ図、代表的なアーキテクチャを理	
学修単受業計	位の履修	毎モ関 学 自 アン 連電	講と目前計中習・ 要要分分分分中で、設定のの内分分分が析析析析問で、シ他題業求求が析析析析問で、対象のの内分分分ががあります。	概念における。 テム設計I・学 回 容 析 析 モモ モ モス テ テ ケ ケ グ グ グ グ グ グ グ グ グ グ グ グ グ グ グ グ	ての座学を行った後 概念や考え方に重点 II,システムデザー し,より良いモデル いて随時解説するの	、演習・課題を通じた置くため、実践のイン演習、電子情報」 ・・設計の作成を推奨 ・・設計の作成を推奨 ・・設計の作成を推奨 ・・設計の作成を推奨 ・・設計の作成を推奨 ・・設計の作成を推奨	た実践極的に で実験を行うに で特別実験 でする あること のシン ケース 対 カス スケケース 対 カス スケース 対 カス ステクテア 関盟 ス ス ス ス ブラ デー ア ア 中 間 図 記 ブロ コ 実 で ファ ク テー で ア で で で で で で で で で で で で で で で で で	講義ではUMLの記法やルールよりも質問・相談することを推奨する. 標 ースケース・アクターの抽出を理解すを理解する 述を理解する ジェクト図を理解する ジェクト図を理解する 現のモデリング、シーケンス図を理解する 図、状態遷移図を理解する ージ図、代表的なアーキテクチャを理ージ図、代表的なアーキテクチャを理	
学修単受業計	位の履修 画 1stQ	毎年 毎年 明学 自 注電 明学 自 注電 別 1 週 3 週 4 3 週 5 週 6 週 7 週 8 週 9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	講と目前計中習・ 要要分分分分中アージ・シ 他題 業 求求が析析 析析問 アート・シ のの 内分分分・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	概念についる デムと相談 学 答 所 所 モモ デ デ デ テ ア ク グ グ グ グ グ グ グ グ グ グ グ グ グ グ グ グ グ グ	ての座学を行った後 概念や考え方に重点 II,システムデザー し,より良いモデル いて随時解説するの	、演習・課題を通じたとの、実践のイン演習、電子情報」 ・・設計の作成を推奨 ・・設計の作成を推奨 ・・設計の作成を推奨 ・・設計の作成を推奨 ・・設計の作成を推奨 ・・設計の作成を推奨 ・・ で、復習し理解を深	た実践極 で 大字で 特別実験 で する さめ で が で もの で が で もの で が で が で が の の の の の の の の の の の の の	講義ではUMLの記法やルールよりも質問・相談することを推奨する. 標 ースケース・アクターの抽出を理解する ・ で理解する ・ ジェクト図を理解する ・ ジェクト図を理解する ・ ジェクト図を理解する ・ 現のモデリング、シーケンス図を理解する ・ 関連クラスを理解する ・ 関連クラスを理解する ・ で変え、代表的なアーキテクチャを理	
学修単受業計	位の履修 画 1stQ	毎年 毎年 関学 自 対定 関学 自 対定 関連電智講之演 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 13週	講と言言は中当・ 要要分分分分の中アア総総で・シはと題業求求が析析析析をファニを合った。 おいの 内分分か・・・・ もの もの かんかん かんがん かんがん かんがん かんがん かんがん かんがん かんが	概計 で 回 容 が が モモ モ モモス テ テ 習 習 習 3 3 3 4 5 5 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	ての座学を行った後 概念や考え方に重点 II,システムデザー し,より良いモデル いて随時解説するの	、演習・課題を通じたとの、実践のイン演習、電子情報」 ・・設計の作成を推奨 ・・ は は は は は は は は は は は は は は は は は は	た字で表しています。 また	講義ではUMLの記法やルールよりも質問・相談することを推奨する. 標 ースケース・アクターの抽出を理解する ・ 世解する ・ 世を理解する ・ ジェクト図を理解する ・ ジェクト図を理解する ・ 現のモデリング、シーケンス図を理解する ・ 関連クラスを理解する ・ 図、状態遷移図を理解する ・ 一ジ図、代表的なアーキテクチャを理ージ図、代表的なアーキテクチャを理ージ図、代表的なアーキテクチャを理ージの、代表的なアーキテクチャを理ーがで、のでは、といった。	
学修単受業計	位の履修 画 1stQ	毎モリン 毎モ関学 自 注	講が司情計中習・ 要要分分分分中アア総合という。 は 題 業 求 求が析析 析 析析間 ー ー 合 合と、設 ス の の 内 分 分分・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	概計 テンタ 回 容 析 析 モモ モ モモス テ テ 習 習 3 3 3 3 3 4 3 4 5 4 5 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	ての座学を行った後 概念や考え方に重点 II,システムデザー し,より良いモデル いて随時解説するの	、演習・課題を通じたとの、実践のイン演習、電子情報」 ・・設計の作成を推奨 ・・設計の作成を推奨 ・・設計の作成を推奨 ・・設計の作成を推奨 ・・設計の作成を推奨 ・・ 復習し理解を深	た中で積極 実験 に	講義ではUMLの記法やルールよりも質問・相談することを推奨する. 標 ースケース・アクターの抽出を理解する ・ で理解する ・ ジェクト図を理解する ・ ジェクト図を理解する ・ ジェクト図を理解する ・ 現のモデリング、シーケンス図を理解する ・ 図、状態遷移図を理解する ・ 一ジ図、代表的なアーキテクチャを理ージ図、代表的なアーキテクチャを理ージ図、代表的なアーキテクチャを理ける・ でいる はまれる できない はまれる しょう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅ	
学修単受業計	位の履修 画 1stQ	毎モリン 毎モ関学 自 対	講と言言は中当・ 要要分分分分の中アア総総で・シはと題業求求が析析析析をファニを合った。 おいの 内分分か・・・・ もの もの かんかん かんがん かんがん かんがん かんがん かんがん かんがん かんが	概計 テンタ 回 容 析 析 モモ モ モモス テ テ 習 習 3 3 3 3 3 4 3 4 5 4 5 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	ての座学を行った後 概念や考え方に重点 II,システムデザー し,より良いモデル いて随時解説するの	、演習・課題を通じたとの、実践のイン演習、電子情報」 ・・設計の作成を推奨 ・・設計の作成を推奨 ・・設計の作成を推奨 ・・設計の作成を推奨 ・・設計の作成を推奨 ・・ 復習し理解を深	た字で表しています。 また	講義ではUMLの記法やルールよりも質問・相談することを推奨する. 標 ースケース・アクターの抽出を理解する ・ 世解する ・ 世を理解する ・ ジェクト図を理解する ・ ジェクト図を理解する ・ 現のモデリング、シーケンス図を理解する ・ 関連クラスを理解する ・ 図、状態遷移図を理解する ・ 一ジ図、代表的なアーキテクチャを理 ・ 一ジ図、代表的なアーキテクチャを理 ・ 計の流れを理解し、必要な文書を作品 ・ 計の流れを理解し、必要な文書を作品	
意点	位の履修 画 1stQ 2ndQ	毎モリン 毎モ関学 自 ア 注電習講ご演	講が司情計中望・ 要要分分分分中で 総総ま期義が報は 課 授 要要要分分分分中で 総総ま期で・シ 他 題 業 求 求水析析 析 析析間 ー ー 合 合 とまり設 ス の の 内 分分分析析 析 析・デ キ キ 演 演 めデ	概計 で	ての座学を行った後 概念や考え方に重点 II,システムデザー し、より良いモデル いて随時解説するの	、演習・課題を通じたとの、実践のイン演習、電子情報」 ・・設計の作成を推奨 ・・設計の作成を推奨 ・・設計の作成を推奨 ・・設計の作成を推奨 ・・設計の作成を推奨 ・・ 復習し理解を深	た中で積極 実験 に	講義ではUMLの記法やルールよりも質問・相談することを推奨する. 標 ースケース・アクターの抽出を理解する ・ 世解する ・ 世を理解する ・ ジェクト図を理解する ・ ジェクト図を理解する ・ 現のモデリング、シーケンス図を理解する ・ 関連クラスを理解する ・ 図、状態遷移図を理解する ・ 一ジ図、代表的なアーキテクチャを理ージ図、代表的なアーキテクチャを理ージ図、代表的なアーキテクチャを理ージの、代表的なアーキテクチャを理ーがで、のでは、といった。	
意点を選挙計	位の履修 画 1stQ 2ndQ	毎モ関学 自 対	講と目前計中習・ 要要分分分分の中で、総総ま期で、設定のの内分分が、で、り、他の関策、対象が、が、が、が、のの内分分が、で、り、のの内分分が、で、い、で、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	概計 テ 字 回 容 析 析 形 モ モ モ モ モ ス テ テ 習 習 o ス 内 な と の が が が で デ デ デ ト ク ク ク グ グ グ グ グ グ グ グ グ グ グ グ グ グ グ グ	ての座学を行った後 概念や考え方に重点 II,システムデザー し、より良いモデル いて随時解説するの	:、演習・課題を通じため、実践のイン演習、電子情報」 イン演習、電子情報」 ・・設計の作成を推奨 ・で、復習し理解を深 ・・ はる は は は は は は は は は は は は は は は は は	た中で積極 実験 に	講義ではUMLの記法やルールよりも質問・相談することを推奨する. 標ースケース・アクターの抽出を理解する を理解する ジェクト図を理解する シポジション、汎化を理解する 現のモデリング、シーケンス図を理解する 図、状態遷移図を理解する ージ図、代表的なアーキテクチャを理ージ図、代表的なアーキテクチャを理ージ図、代表的なアーキテクチャを理計の流れを理解し、必要な文書を作成計の流れを理解し、必要な文書を作成 て復習し理解を深める	
意点 学修 <u>学</u> 計	位の履修 画 1stQ 2ndQ	毎モリン 毎モ関学 自 ア 注電習講ご演	講と目前計中習・ 要要分分分分の中で、総総ま期で、設定のの内分分が、で、り、他の関策、対象が、が、が、が、のの内分分が、で、り、のの内分分が、で、い、で、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	概計 で	ての座学を行った後 概念や考え方に重点 II,システムデザー し、より良いモデル いて随時解説するの	:、演習・課題を通じため、実践のイン演習、電子情報」 イン演習、電子情報」 ・・設計の作成を推奨 ・で、復習し理解を深 ・・ はる は は は は は は は は は は は は は は は は は	た中で積極 実験 に	講義ではUMLの記法やルールよりも質問・相談することを推奨する. 標 ースケース・アクターの抽出を理解する ・ 世解する ・ 世を理解する ・ ジェクト図を理解する ・ ジェクト図を理解する ・ 現のモデリング、シーケンス図を理解する ・ 関連クラスを理解する ・ 図、状態遷移図を理解する ・ 一ジ図、代表的なアーキテクチャを理ージ図、代表的なアーキテクチャを理ージ図、代表的なアーキテクチャを理ージの、代表的なアーキテクチャを理ーがで、のでは、といった。	

総合評価割合	40	40	20	100
基礎的能力	20	20	20	60
専門的能力	20	20	0	40